

地域・企業と人を結ぶ つなぐ 広げる

なびつま

高砂商工会議所報

令和4年10月1日発行 <https://www.takasago-cci.or.jp>

「高砂商工会議所会館」



特集 高砂浦で老漁師夫婦を教化 十輪寺ゆかりの浄土宗の開祖 法然上人
「高砂町ゆかりの人・29人展」が11月12日(土)・13日(日)に開催

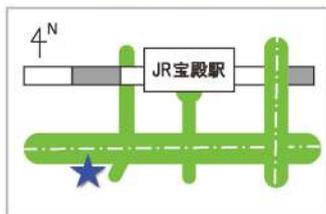
- 会議所の動き 【国内最大規模の専門見本市・展示会で新規取引獲得を支援!】
- 会員インタビュー 人とのつながりによって、道が広がった
- レディース ゴー 身体に良い食材を使って美味しいお弁当を

VOL. 266

豊かなコミュニティづくり

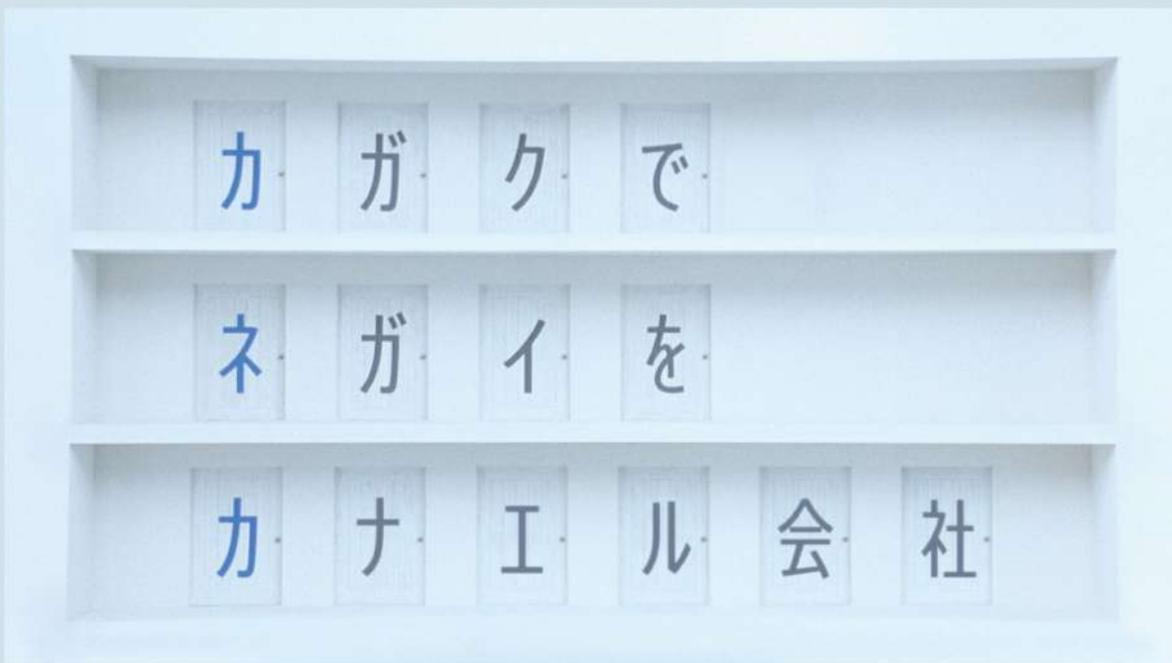


男性用 30分スポーツジム



お問合せは メンズカーブス
079-431-8801

高砂市米田町島83-1

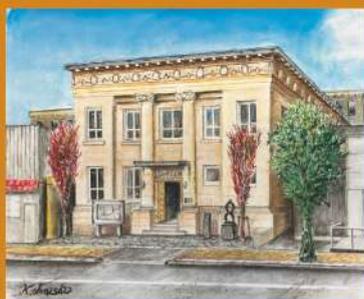


KANEKA

株式会社 カネカ

高砂工業所 / 〒676-8688 兵庫県高砂市高砂町宮前町1-8

もくじ



今月の表紙

「高砂商工会議所会館」

1932年に旧高砂銀行本店として
建てられた高砂を代表する建物。
登録有形文化財。

- 2 会議所の動き 【国内最大規模の専門見本市・展示会で新規取引獲得を支援！】
- 4 レディース ゴー 身体に良い食材を使って
美味しいお弁当を
- 5 会員インタビュー 人とのつながりによって、
道が広がった
- 6 クローズアップ 「高砂町ゆかりの人・29人展」が
11月12日(土)・13日(日)に開催
- 7 高砂ゆかりの人々 高砂浦で老漁師夫婦を教化
十輪寺ゆかりの浄土宗の開祖
法然上人
- 8 私のお気に入りの店 「和牛まるごと一頭買い」で
上質の肉をリーズナブルに
- 8 私の宝物 長谷川亀次郎の旌徳碑
- 9 会員のひろば 活動報告
- 10 会員のひろば 活動報告
- 11 INFORMATION 新入会員紹介・お知らせ
- 12 INFORMATION お知らせ 他

「なびつま」とは…

古代には、現高砂地域の大半は加古川の旧流路中か海中にあり、河口付近には砂州が発達して、島のようになっていました。「播磨国風土記」には、「郡の南の海中に小嶋あり。名を南毗都麻と曰ふ」とあります。景行天皇の妻訪い伝承で有名なこの南毗都麻(隠妻)島は、加古川河口部付近にあったと推測されています。 たかさご史話59 古代高砂の景観より

この会報を通して会員と会議所、会員相互の交流を深めるだけでなく、地元「高砂」のことをもっと知ろうという願いを込めています。

【国内最大規模の専門見本市・ 展示会で新規取引獲得を支援！】



高砂商工会議所では、共同・協業販路開拓支援補助金を活用し、『第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー』（東京ビッグサイト（東展示棟）、9月7日～19日）に出展、12事業者の商品についてビジネスマッチングを支援しました。日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市で、一般の方の来場はなく、ショップ、百貨店、専門店、商社、卸売業者などのバイヤーとの商談を目的に開催された同展示会では、完全招待制による人数制限、換気や検温・消毒の徹底など、「COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」等に基づく

感染リスクを最小限に抑える環境整備が施され、当商工会議所も初めての出展ながら、出展者の人数制限や会場内の身体的距離を確保し、現地参加を断念された事業者の代理提案も行うなど感染予防対策と販路開拓の両立を図りました。

来場バイヤー数は192,334人(前回は33%増)と、商談数ではコロナ前と比べると差が如実に表れるものの、現地参加事業者からは「事前予約制で来場するバイヤーは商材を探す目的意識が高く、1つ1つの商談については内容の濃いものが多かった」などの声も寄せられ、会場での取引成立や高い成約率が見込める商談獲得など、貴重なビジネス商談の場を有効活用いただきました。

今後は、関西ものづくりワールドやサンフランシスコでの展示会出展、「高砂MONOづくり」推進に係るホームページ構築、市場マーケティング調査等を予定しております。

高砂商工会議所では引き続き、会員事業所の販路開拓に係る事業を展開し、コロナ禍により商談機会の消失などの影響を受ける中小企業等の支援を行ってまいります。貴社の販路開拓等の相談事がありましたら、高砂商工会議所中小企業振興部までご連絡ください。



今後予定している展示会

- ・第25回関西ものづくりワールド
開催日：10月4日(水)～7日(金)
会場：インテックス大阪
- ・サンフランシスコ・ゴールデンゲートパークでの竜山石デモンストレーション
開催日：10月13日(木)～25日(火)
会場：ゴールデンゲートパーク
日本庭園内
- ・サンフランシスコ・ジャパントウンでの展示会
開催日：10月28日(金)～30日(日)
会場：Japantenna



■出展企業一覧

●一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー

〒676-0041 高砂市高砂町今津町533-1
TEL:079-441-8076 FAX:079-441-8077
URL:<https://www.takasago-tavb.com/>
出展内容：観光物産品（缶詰、焼物、コーヒー豆、その他小物）他



●亀次郎商店×高砂水引細工「千和」

〒676-0828 高砂市阿弥陀町地徳1
TEL:090-2047-4244 FAX:079-490-3399
出展内容：盆栽、松葉コーディアル等松関連グッズ、水引盆栽、亀山石&水引コラボ商品等



●竜山プロジェクト

〒676-0805 高砂市米田町米田791-1
(株)松下石材店内
TEL:079-432-3527 FAX:079-432-5821
出展内容：竜山石を用いたプロダクト



●綺服ろーぶ☆宝殿

〒675-0054 加古川市米田町平津432-4
ファミリーハイツK101号室
TEL:090-3864-4978 FAX:079-455-1058
URL:<https://ayarobe.com/>
出展内容：着物リメイク服



●株式会社御影屋

〒676-0041 高砂市高砂町今津町510番
TEL:079-440-9031 FAX:079-440-9032
URL:<https://www.matsuemon-ho.com/>
出展内容：鞆・小物（帆布）



Lady's Go

レディース ゴー

身体に良い食材を使って 美味しいお弁当を



取材日の日替り弁当(おかずのみ)

レディースゴー

料理を作るのが大好きだから

今年3月に井村より子さん、灘早苗さんの二人の主婦が共同代表となって美保里に開いた弁当店「手作り弁当おふくろ」。今回のレディースゴーに登場していただくのは、店での接待役を務める井村さんに対して、「もっばら私は作る人」と話す灘早苗さんだ。

播州弁ではないシャキシャキとした喋り方が印象的な早苗さんだが、それもそのはず、九州は福岡県の生まれ。若い頃から料理を作るのが好きで、いずれは食事を看板にした居酒屋をやりたいという思いがあったが、紹介する人がいて高砂でまずは喫茶店勤めから始め、やがて喫茶店やスナックの経営に携わり、その後念願の居酒屋をやることに。

結局、22年間続けた居酒屋だったが、今の主人と知り合ってから再婚し、居酒屋を止めて普通の主婦の暮らしをしていたが、偶然、かつての居酒屋時代のお客さんだった井村さんと再会。夫君の仕事を手伝いながら野菜作りに精を出し、「体が動く元気なうちに

手作り弁当おふくろ
共同代表
灘 早苗さん



何かをやりたい」と思っていた井村さんと、「結婚生活は楽しいが、好きな料理の仕事をもう一度やってみよう」と思っていた早苗さんの思惑が一致。「ランチがしたい」と思っていた井村さんと、「ランチに来られないお年寄りや足の悪い方にも食べてほしい」と思った早苗さんが知恵を出し合い、初期投資や家賃などの固定経費もあまりかからず、「儲けなくてもいいから」の思いから二人でチームを組んで、弁当をテイクアウト販売する「手作り弁当おふくろ」を開くことに。

店には無駄な飾り立てがなく、一見作業場のようだが、「儲けなくてもいい」を前提としているだけに、料理に使う素材や調味料にはとことんこだわっている。

まず、食品添加物の入った「うまみ調味料」は一切使わない。ダシも北海道利尻産の昆布やかつお、イリコなどから取り、砂糖も精製された白砂糖は使わず、北海道が産地の砂糖大根からとったミネラル分がたっぷりのてんさい糖を用い、塩も赤穂の天塩を使うなど徹底したこだわり。料理に入る野菜も井村さんが作る旬の野菜のほか、できるだけ無農薬・低農薬の野菜を使用。鶏卵も地元のカゴタニの卵を使うなど「食べる方に健康でいていただきたいから、調味料や素材にはこだわっています。そのあたりはケチりたくないんです」と笑う。ちなみに利尻産の昆布やイリコ、カゴタニの卵などは店内でも販売している。

グルメ県で知られる福岡県の出身ということもあるのだが、料理が好きなのは母親譲りだそうで、「母がとても料理が上手だったことが影響しているのかもしれない」と話す。

メニューの考案が一番の仕事

販売しているお弁当はわずか3種類で、いずれも売り切れ御免と実にシンプル。1日限定30食の日替わり弁当(600円)と10食限定の唐

揚げ弁当(500円)、それにスジ肉、ニンジン、玉ねぎを煮込んだ肉すじカレーで、ご飯抜きの場合は各100円引き。唐揚げは単品を1個50円で販売しているという。

「作る人」だけに早苗さんが一番頭を悩ませるのが日替わり弁当のメニュー作り。ちなみに8月下旬の取材日のメニューは、鮭のパプリカトマト煮、ミンチ入り卵焼き、豚肉とキュウリの生姜風炒め、なすびのポン酢和え、きのこのバター炒めの、栄養のバランスの取れた5品。メニューを考えるのが早苗さんに課せられた一番の仕事で、レシビを載せるノートには3カ月前の11月分までびっしり書き込まれている。

仕事は年中無休で、今年のお盆も開業。年末はおせちづくりを予定しており、お正月に数日休みが取れるぐらいと話す早苗さん。

「元氣だけが取り柄ですし、主人も家の洗濯を担当してくれるなど、優しい人ですから助かっています。これからも井村さんと二人で何とか頑張っていきたいです。井村さんは、将来的にはできればお年寄りの方相手の、ごども食堂、みたいなことができないかと」と夢を。早苗さんと、今回は取材できなかった井村さんにも大きな拍手を送りたい。



【メモ】 手作り弁当おふくろ
高砂市美保里25-27 ☎079-443-5800
営業時間/11:00~13:00
定休日/なし(お盆とお正月は休業の予定)



ふり砂や屋根土などの製造販売を

人とのつながりがりにより、道が広がった

まず、西山商店さんの簡単な紹介から。

当社は昭和19年（1944）に父親の西山幸夫が創業。生コンなどなかった時代で、父は馬力を引いて砂利や土、竜山石のコツパなどを販売していたそうです。現在はふり砂や壁土、屋根土の製造販売のほか、建築・左官材料などを販売しています。

具体的にどのような仕事を？

主だったところでは、平成10年に明石城の修復工事にも弊社が製造した屋根土や壁土、漆喰が使用されましたし、十輪寺の屋根土や工業松右衛門旧宅の壁土にも当社が作った土が使われています。

それは御社の土の質が良いからだと思うのですが、ポイントはどこあたりですか？

やはり土の選び方と配合がポイントになります。たとえば土壁は土に糞すさや振り砂を混ぜて水で練ったものを塗り固めるものですが、土や砂の違い、練る水の分量によって、後になってクラックが生じたり、ガチガチに硬くなってしまったりするので、土の性質をよく見て、お得意さんの「こんな土を置いといて（作って）おいてくれや」という注文にきちんと応えるのが一番で、これまでの当社が製造し、提供してきた土の質が良かったから明石城の修復工事のような大きな仕事に採用されたんだと思います。

そのあたりの良さを見抜くのは、やはり経験ですか？

そうですね。私の場合、会社に入ったのは大学を出てからですが、大学時代からアルバイトのような形で仕事を手伝っていましたから、父親に教わって土や砂の見る目を養ったことが一番だと思います。後はやはり経験と、それに基づく勘みたいなのではないでしょうか。

会社としてのモットーのようなものは？

当社と同じような時期に創業して、事業を大きくされた会社もあります。が、当社は会社を大きくするのは

なく、小型の商売に徹して、父親の代から借金をせずに地道にやってきました。父も私も、人に喜んでもらうために、家族を幸せにするために一生懸命仕事をしてきました。お金は後から付いてくるものだと思いますから。

それと私の場合、人との出会いに恵まれたことがあります。青年会議所に入ったのも荒井タクシーの信原さんに熱心に勧められたのがきっかけでしたが、おかげでいろんな方と縁ができて人生や仕事の上でもプラスになりました。私も会社も人とのつながりによって道を広げることができた。信原さんを初め、出会った皆さんには感謝しかありません。

仕事の上で今後の課題は？

阪神淡路大震災が起こるまでは、お得意先は地場の工務店や大工さんが9割、1割がハウスメーカーさんだったのが、今では逆転して9割がハウスメーカー、1割が地場のお客さんになっている。全体の流れがすっかり変わってきているから、土の性質を見極める目をさらに磨きながら、ハウスメーカーさんから求められる製品を開発・提供していかなければならないと思っています。

オフの楽しみと云いますと？

車が好きで、何台も乗り換えまして、ゴルフにもいっとき凝りましたが、今は釣りにハマっており、船も購入し、荒井の港に係留。漁業権

も手に入れました。

実は子どもの頃から釣りが大好きで、中学生の頃は播磨町の人工島まで自転車で乗ってカレイを釣りに出かけていたぐらいです。私はもっぱら釣る人で、料理は女房がしてくれています。知れませんが、たぶん釣ったときなど、知り合いにあげて喜ばれていきますし、毎週のように船で出かけています。

女房とたまに旅行に行ったり、子供たちや孫たちと食事に行くのも楽しみです。あと一つ、28年前から村の小松原野球部の代表もしています。軟式野球チームですが、コーチをやり、監督をやって、今は代表。大会などでの折衝役がもっぱらの仕事ですが、小松原野球部から甲子園に出場するような選手が出るのが私の夢です。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。



西山商店代表取締役
西山 清利さん

会員インタビュー



●西山商店
高砂市荒井町小松原1丁目10-3
☎079-442-0549(代)

「高砂町ゆかりの人・29人展」が 11月12日(土)・13日(日)に開催

クローズアップ



「ルネサンスみなと町高砂」が、「たかさご万灯祭」に合わせて11月12日(土)・13日(日)に、工業松右衛門旧宅近くの森学園予定地で野外パネル展「高砂町ゆかりの人・29人展」を開催する。

同会は、江戸末期の建物が多く残り、

「日本遺産」北前船寄港地・船主集落に認定された高砂・堀川周辺地域を活性化することを目的に、令和3年4月1日に発足。新井哲三氏を会長に、現在約60名の会員を擁し、地域の活性化とともに高砂神社・十輪寺・工業松右衛門旧宅等を中心とした歴史美観地区を整備するべく取り組んでいる。



場所 森学園予定地(工業松右衛門旧宅近く)

●ルネサンスみなと町高砂

〒676-0036 高砂市高砂町高瀬町1511(高砂来て民家)
(開館)土日9:30~12:00 13:30~16:00
☎090-8164-2676(事務局 生南)

今回の「高砂町ゆかりの人・29人展」の開催はその一環で、高砂商工会議所報「なびつま」に平成21年(2009)1月10日号から掲載されている「高砂ゆかりの人々」を参考に、「ルネサンスみなと町高砂」理事3人(高砂市文化連盟会長の藤村清春さん、高砂歴史ガイドクラブ会長の唐津哲男さん、「ルネサンスみなと町高砂」事務局長の生南匡浩さん)が高砂町ゆかりの29人について執筆。写真やイラストを交えてB1サイズ(728×1030mm)20枚のパネルにして、12月工業松右衛門旧宅を手始めに、市内各所で巡回展示するという。

「なびつま」の「高砂ゆかりの人々」には第1回の山片蟠桃に始まり、第45回の今号の「法然上人」まで高砂市にゆかりのある45人の人々が登場しているが、「高砂町ゆかりの人・29人展」では高砂市の中でも高砂町にゆかりの深い人々に絞っており、登場するのは29人。今後は「高砂市ゆかりの人物展」を第2弾として開催予定である。

『なびつま』の記事を参考に

歌舞伎「天竺徳兵衛韓斬」で全国に知られた天竺徳兵衛、帆布の開発や築港で江戸海運を発展させた工業松右衛門、高砂町民の学問所「申義堂」開校に尽力した岸本家4代目岸本吉兵衛、北方の守りを進言した勤皇学者の菅野白華、「天皇機関説」を提唱した憲法学者美濃部達吉、工業家6代目当主で文化研究会「白泥会」を創立した工業長三郎、一茶や蕪村とも交流のあった俳人田中布舟、江戸時



パネル化される「高砂町ゆかりの人・29人」

代の歴史研究家で「高砂雑記」を著した三谷松園、第4代高砂町長で明治に入って衰退が著しかった高砂町を大工場の誘致でよみがえらせた松本利平、キリスト教運動家で農民運動に参加した河合義一、「俳哲」と呼ばれた俳人で城山三郎著「部長の大晩年」のモデルになった永田耕衣、現代俳句の旗手として活躍した加藤三七子、その他、そうそうたるメンバーで、「なびつま」には登場していない俳人の相生垣瓜人ら3人も加わっている。

* 高砂の歴史・文化の豊かさに触れるまたとない機会になりそうだが、会場となる森学園予定地では開催に先立つ11月10日(日)10時に、ゆかりの人たちの子孫を招いて記念式典も行われる。



名譽住職西田光衛さん作の法然上人

法然上人

高砂浦で老漁師夫婦を教化 十輪寺ゆかりの浄土宗の開祖

その中にいたのが漁業を生業とする老夫婦だった。老夫が「私はこの浦に住む漁師ですが、幼いときから漁を生業とし、朝夕魚の命を奪って生きています。殺生は一番重い罪だと聞きます。罪の重い身の助かる道があれば教えてください」と教えるを乞うたところ、法然は「あなたのような者でも南無阿弥陀仏と唱えれば浄土に往生できる」と教えたので、二人は涙を流して喜び、法然に帰依したという。その後、老夫婦は漁をやめることはなかったが、常に念仏を欠かさなかったので極楽に往生で

きたという話である。漁師の名は八田治部太夫と言い、高砂町南本町の月西寺が居宅跡だと伝わっており、夫妻の墓も高砂町横町の十輪寺にある。その法然が高砂に立ち寄った際に旅の疲れを休めたのも十輪寺だと伝わる。同寺は弘法大師が留学僧として唐に向かう途中、高砂の浦あたりで靈感を感じ、帰国後創建した真言宗の寺だったが、その後衰退し空き寺になっていたので、法然の来訪を機に浄土宗の寺となり今日に至っている。十輪寺が所蔵する「十輪寺縁起絵伝」には法然上人の船が高砂に立ち寄り、立ち去っていく様子が描かれている。

さらに法然上人の逸話には、高砂から室の泊（たつの市御津町室津）に着いた法然の元を遊女が乗る小舟が近づき、「私のような罪業の重い者は、どうすれば後生が救われるの

その法然上人が高砂に立ち寄り、住民を教化したのは建永2年（1207）2月のこととされる。2人の門弟が後鳥羽上皇の留守中に宮中の女官を出家させたことが上皇の逆鱗に触れ、門弟は死罪、法然もまた四国に流されることになった。このとき法然は行く先々で民衆に念仏を説いたが、加古川の河口の港町としてにぎわっていた高砂にも立ち寄り、多くの民衆と結縁した。

さて、高砂きつての名利と言える十輪寺だが、今回掲載させていた法然上人の版画作品を提供してくださったのが十輪寺名誉住職の西田光衛さん。木版画のカレンダーの制作で有名な方だが、この作品も一般に「法然頭」と呼ばれる、頭頂が平らで中央にやくばみがある特徴を見事に捉えられており、表情にも上人の慈悲深さが滲んでいる。付け加えると、十輪寺は「法然上人二十五霊場」の第三番札所でもある。



格調あふれる山門

比叡山で専修念仏の教えに

浄土宗の開祖として知られる法然は、長承2年（1133）に美作国（現岡山県）の押領・漆間時国の子として生まれ、幼名は勢至丸といった。9歳のときに父が夜討ちに遭って非業の死を遂げるが、今わの際に時国は「決して敵を恨んでくれるな。もしお前が復讐を思うなら争いはいつまでも絶えないだろう。出家して誰もが救われる仏の道を求めよ」との遺言を残した。そこで勢至丸は仏道修行の道に入り、やがて比叡山延暦寺に登って誰もが救われる仏の道を求めて修行を続け、法然坊源空の名を授かり、長く苦しい修行の中で専修念仏の教え

高砂に立ち寄り住民を教化

にたどり着いた。この教えは、天災や戦乱により混乱を深める時代であっても、一心に「南無阿弥陀仏」の念仏を唱えれば、誰でも極楽浄土に往生できるというもので、貴族から民衆に至るまで多くの人々に救いと希望をもたらせた。



「高砂町史誌」に登場する法然と十輪寺



「和牛まるごと一頭買い」で 上質の肉をリーズナブルに

私のお気に入りの店



「ほんまもんを ふつうに」と話す加古さん

山電荒井駅から徒歩約13分。小松原交差点から県道高砂北条線を北に向かい、トーホーストアの先にあるのが「焼肉 だるま」。店の看板に「和牛まるごと一頭買い」(精肉店直営)の文字が踊っている。
オーナーの加古真也さんによれば、使用する牛肉は部位ごとに仕入れるパーツ買いではなく、上質の和牛をまるごと一頭買いしているそうで、その分、仕入れコストが安くなり、お客様にリーズナブルな価格で提供できるほか、一頭買いなのでミスジャヤタン元といった希少部位も提供できるという。さらに精肉店からは部位ごとの塊で入ってくるので、より新鮮な状態で出すことができるそうで、そのあたりを

見事に表現している店のキャッチコピーが「ほんまもんを ふつうに」。短い、さりげない言葉に、加古さんの自負のようなものが込められているようだ。
店内は4人〜6人掛けの個室が9部屋で、カウンタース席が8席だが、個室は仕切りを取り払い、広い部屋になり、コロナ禍以前の夜は企業関係の宴会などでにぎわったという。宴会も今は少しずつ持ち直してきているが、週末などは夜の部も家族連れが増えたそうで、ランチタイムはサラリーマンやOLでにぎわうという。
そのランチメニューにはハラミ定食、カルビ定食(各1200円)、カルビとハラミが一緒に出てくるまんぷく定食(1500円)があり、いずれにもスープ、野菜、小鉢、デザートが付くほか、鶏orウインナーorホルモンが付いてくるというから「お得感」がいっぱい。店を出しているどのメニューもお持ち帰りOKで、販売しているギフト用の牛肉セットも好評だという。

【推薦の言葉】

さすが『和牛まるごと一頭買い』ですね！

美味しいお肉をリーズナブルな価格で食べられます。家族と行くのもよし、大人数で宴会するのもよし、おひとり様でもよし。ランチもボリュームがありお薦めです！

株式会社 京谷 歳平さん



●焼肉だるま
〒676-0011 高砂市荒井町小松原3-3-32
☎079-443-6289
営業時間/11:30~14:00 17:00~22:00
定休日/月曜日(祝日、祝前日の場合は開店)



~ My Treasure ~

せいとくひ 長谷川亀次郎の旌徳碑

地徳小屋 鹿島柏修園 店主
長谷川 哲也さん

亀次郎は現在の加古川市東神吉町西井ノ口の出身で、私の4代前の先祖に当たります。天保9年(1838)の生まれで、若いときに高砂に移り、姫路藩の大庄屋格となり、百間蔵の御蔵米の会計周旋方となり、その一方で蒸気船を建造して大坂と高砂間を航海するなど、明治維新直後の混乱期に実業家としても活躍したようです。

亀次郎は教育にも力を注いだ人で、明治6年(1873)に出身地の西井ノ口に私財を投じて東神吉小学校の前身である井ノ口小学校を創設。当時としては珍しい洋風2階建ての校舎で、その徳を称えて明治37年に西井ノ口に建立されたのがこの旌徳碑です。

しかし、旌徳碑の根元が弱り、倒壊の危険が生まれたので一度は私の実家に移設。さらに東

京で音響関係の仕事をしていた私が自分のセカンドキャリアとして盆栽職人になる道を志し、カフェを楽しみながら盆栽を楽しんでいただけの盆栽園「地徳小屋」を開くべく、1年半前にこの地に引っ越してきたのを機に盆栽園の一角に再設置したものです。

亀次郎は高砂の庶民の学問所として開設され、高砂の教育の原点をなした申義堂が明治4年に廃校になった際、姫路の光源寺の説教所として自分の出身地である西井ノ口に移築するなど、高砂の歴史に大きな功績のあった人ですので、旌徳碑を守り続けるのも私の責任だと思っています。

●地徳小屋 鹿島柏修園
高砂市阿弥陀町地徳1番地 ☎079-490-3399



地徳小屋の長谷川さん



亀次郎の旌徳碑

私の宝物

合同部会講演会

「人生百年時代への備え」を
実施しました

令和4年7月12日(火)、情報・文化・健康・サービス部会と金融・理財部会の合同で、「人生百年時代への備え」をテーマに講習会を開講し、オンライン視聴と合わせて23名の方が参加しました。

講演は㈱三井住友銀行 高砂支店 曾根出張所支店長 岡村氏にお越しいただき、人生百年時代をテーマに、老後の不安や健康問題、相続などについてわかりやすくお話しいただきました。

相続や事業承継、節税などの具体的な話もあり、ご参加いただいた方も興味を持って聞いていただけたと思います。



東播磨2市2町「会員大交流会」を開催

東播磨2市2町の商工会議所・商工会による合同交流会が、7月26日(火)加古川プラザホテルで開かれ、様々な業種の会員企業から約100人が参加。それぞれのビジネスチャンスをつかもうと、各企業が情報交換をしました！

合同交流会は2014年に初めて開催され、20、21年は新型コロナ感染拡大の為中止となり、実に3年ぶりの開催となりました。

参加者は七つのテーブルに分かれ、1人ずつパーテーション越しに1分間の自己紹介をしました。今回はステージ上での自社PRもあり、9社の代表が全参加者にアピールしました！



講習会

「経営に役立つ
民法改正のポイント」を
開催しました

令和4年7月28日(木)、120年ぶりに民法が改正・施行され、事業所の方々に改正民法の内容を確認頂けるよう、「経営に役立つ民法改正のポイント」をテーマに講習会を開催しました。オンライン視聴と合わせて11名の方が参加されました。

講師に小林裕彦法律事務所代表弁護士 小林 裕彦氏をお招きし、改正民法の概要や、事業をされている場合は特に重要となる改正点などについて、わかりやすくお話しいただきました。



建設部会視察事業開催

8月19日(金)、高砂商工会議所 建設部会視察事業を開催いたしました。

本視察は、高砂商工会議所の目標の一つである「地区内のSDGs推進」を目指し、自社の推進のヒントとするべく、姫路商工会議所設立 100周年記念事業「Himeji SDGs EXPO 2022」に総勢13名で視察してまいりました。

「Himeji SDGs EXPO 2022」は姫路地域の事業所の「持続可能な社会を目指すSDGsの考え方」や「世界で活躍する技術」、「最新技術」をヒントに、新しいビジネスチャンスにつながるきっかけとなる商談型の展示会です。

午後会場に到着後、(株)三井住友銀行サステナブルソリューション部兼サステナビリティ企画部 部長 末廣孝信氏の講演を聴講し、その後、各ブースで説明を聞いたり製品を見たりと皆さん興味深く説明を聞いておりました。近隣市のSDGs推進に向けた具体例を知ることが出来、参加いただいた方々からは、「大変有意義であった」との感想を得ました。

参加者の皆さん大変お疲れ様でした。



「バズレシピ リュウジ氏の美味しいトークショー」開催



8月24日(水)、各種SNSで有名なバズレシピのリュウジ氏を講師にお招きし、“あなごの加工”に着目した、自宅でも簡単にできるあなご料理のアレンジレシピや料理の裏技をトークショー形式で実施することで、コロナ禍で自宅での飲食が増えてきている時代に合わせて楽しんでもらえる企画として、開催しました。

当日は、150名強の参加者が来訪し、「あなごのフリット」の実演の他、料理のコツを質疑応答形式でお答えいただきました。質疑応答では、「どうしたら魚を食べてもらえるか?」、「野菜をたくさん食べるコツは?」、「メニュー開発のコツは?」など、次々と質問があがり、リュウジ氏はそのひとつひとつに丁寧に答えていました。

これにより、「高砂=あなご」を定着させる、より良いきっかけになったと考えております。

ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



ものづくり・物流部会「ものづくり大学校視察研修」

令和4年8月30日(火)、ものづくり・物流部会主催の「兵庫県立ものづくり大学校視察研修」が実施されました。

ものづくり大学校とは、ものづくり人材の育成・確保を図るために教育研修施設と、ものづくりの楽しさを知ってもらうための体験施設の2つの機能を一体化した施設です。

当日はまずものづくり大学校の概要説明、体験館・施設内訓練・在職者訓練についてのお話をお聞きした後、次に実際に施設見学をさせて頂きました。



ものづくり大学校では近年減りつつある製造業、建設関連等の技術も持ったスペシャリストを育成しており、座学と実習を一体的に融合させながら、確かな技術・技能が身につく実践的な教育訓練をされていました。

少人数での参加となりましたが、非常に丁寧な説明を受け、隅々まで見学する事が出来ました。特に最新の機器のデモンストレーションでは参加者の皆さんは興味深そうに見学し、大変有意義な視察となりました。





【会員の皆様へ】
 ～会議所会費口座振替のお知らせ～
 会議所会費口座振替制度をご利用の皆様につきましては、令和4年度後期分を10月17日(月)に振替させていただきますので、よろしくお申し込み申し上げます。

新入会員紹介

令和4年2月1日から5月31日までに入会された会員で、前号にて掲載漏れがございましたのでお知らせします。

事業所名	業種	所在地	電話
Kaimana coffee and gear	カフェ	高砂市阿弥陀町長尾549-4	079-440-7560

加古川税務署・加古川納税協会からのお知らせ

改正法人税法等説明会及びインボイス制度説明会

- 日程 令和4年10月17日(月)
 13:30～14:50 改正法人税法等
 15:00～16:00 インボイス制度
 16:00～16:20 電子帳簿等保存制度
- 場所 加古川市民会館中ホール 加古川市加古川町北在家2000
- その他 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により開催を中止させていただくことがありますので、「加古川納税協会ホームページ」をご確認の上、ご出席ください。

～問い合わせ先～

加古川税務署法人課税第1部門 TEL079-421-2956

高砂商工会議所展示コーナー出展者募集

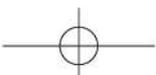
高砂商工会議所の展示ブースの一角に、有料で貸し出す小さな展示コーナーができました。市内の事業者を中心に、多くの方が訪れる高砂商工会議所。そこに商品を展示することで、新たな取引のキッカケ作りとして利用してみませんか？ご興味ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

料金：2,000円／月(税込)

【展示スペースの大きさ】 縦:約43cm 横:約43cm 奥行:45cm



【お問い合わせ先】 高砂商工会議所 総務課 tel: 079-443-0500



高砂商工会議所貸館をご利用ください！

高砂商工会議所会館施設使用料金表(平日)

注 ()は、非会員の使用料金

時間帯	室名	特別会議室(36名)	大会議室(70名)	小会議室(15名)	談話室(6名)
A	9:00~12:00	3,000(3,900)	5,000(6,500)	2,700(3,400)	1,900(2,400)
B	13:00~17:00	4,500(5,850)	6,500(8,450)	3,400(4,300)	2,400(3,000)
C	18:00~21:00	6,000(7,800)	8,000(10,400)	4,200(5,300)	3,000(3,700)
D	9:00~17:00	7,000(9,100)	11,000(14,300)	5,800(7,300)	4,000(5,100)
E	13:00~21:00	9,000(11,700)	13,000(16,900)	6,800(8,500)	4,800(6,000)
F	9:00~21:00	12,000(15,600)	15,500(20,150)	8,200(10,300)	5,700(7,200)

※ 日曜日、祝日及び土曜日の使用料金は、通常料金の30%増とする。



大会議室



特別会議室

お問い合わせ先：高砂商工会議所事務部総務課まで

議所へ一度お問い合わせください。



毎月1回、高砂商工会議所メルマガジンを、メールアドレスをご登録いただきました会員事業所様に送信しております。最新の補助金や事業に有効な制度など、お役に立つ情報をいち早くお届けします！

まだメールアドレスをご登録されていない会員様で、メルマガをご希望の方は、会議所HPもしくは左のQRコードからご登録をお願いいたします。

※すでにメールアドレスをご登録いただいております会員事業所様で、メルマガが届いておられない方は、メールの受信設定をご確認いただくとともに、会

高砂商工会議所
メルマガジン配信中！

会員増強運動実施中！！

未加入事業所をご紹介ください

個人や企業だけでは解決できない税制問題や中小企業施策など様々な経営者の声を国等への施策に反映させるためにも、会員数の拡大による組織力の強化が必要と考えております。お取引先やお知り合いの方で、ご入会を希望されておられる方、もしくは未加入の方を是非ご紹介ください。

皆様からのお力添えを願いますよう、よろしくお願い申し上げます。



お気軽にお電話ください 高砂商工会議所 事務部 総務課 TEL.079-443-0500

クイズコーナー

なびつま266号で掲載されている記事をもとに、クイズを出題！
全問正解者の中から抽選で1名の方に「3,000円分のクオカード」をプレゼント致します！

- Q1 『私のお気に入りの店』のコーナーより、焼肉だるまのお店のキャッチコピーは？
- Q2 『私の宝物』のコーナーより、長谷川哲也さんの先祖である長谷川亀次郎さんが、私財を投じて西井ノ口に建設したものは？

前回(265号)の答え：Q1 食を通じて人のお役立ちをする Q2 どんぐり

ハガキまたはメールに①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤「なびつま」の感想をお書き添えの上、右記まで送付ください。正解者の中から抽選で1名の方に「3,000円分のクオカード」をプレゼント致します。

なお当選は賞品の発送をもって発表とかえさせていただきます。

応募締切 2022年11月30日まで(当日消印有効)
送付先 〒676-8558
高砂市高砂町北本町1104
高砂商工会議所 総務課
E-mail takasho@takasago-cci.or.jp



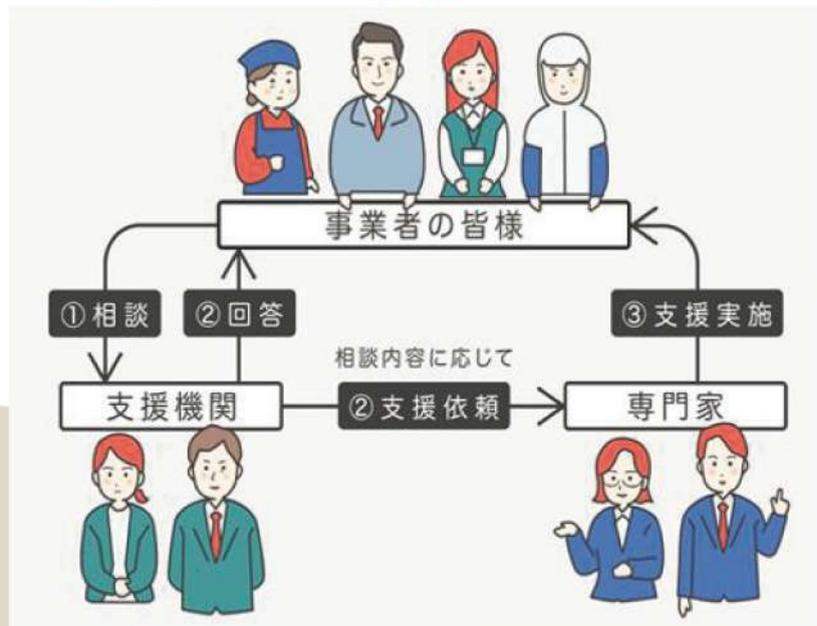
中小企業119のご案内

中小企業119は、中小企業、小規模事業者のための経営相談と専門家派遣事業です。

事業者の皆様が抱える様々な経営課題に対して、支援機関が専門家を派遣して課題解決をサポートします。

- ・初回無料、2回目以降は専門家への委託料が発生します
- ・同一年度5回まで利用できます
- ・詳細は中小企業119ホームページをご確認ください

<https://chusho119.go.jp/>



- ITを活用した経営力強化
- 販路拡大・販促支援
- 経営革新
- ものづくり
- 創業
- 雇用・労務関係
- 知的資産経営
- 地域資源活用
- 資金繰り
- 事業承継
- BCP
- 事業再生及び再チャレンジ
- 海外展開
- 農商工連携
- 契約・取引
- 新連携
- 債権保全・債権回収
- その他経営課題

 中小企業119

 中小企業庁



企業発展のために!!

“地元を愛し” “地元で生きる”

高砂金融会(順不同)

<p>三井住友銀行高砂支店 高砂市高砂町浜田町2-3-5 TEL(079)442-2681</p>	<p>西兵庫信用金庫高砂支店 高砂市荒井町御旅2丁目10-2 TEL(079)443-1313</p>
<p>みなと銀行高砂支店 高砂市荒井町中新町8-18 TEL(079)443-4301</p>	<p>日新信用金庫宝殿支店 高砂市神爪1丁目10-2 TEL(079)432-8711</p>
<p>兵庫信用金庫高砂支店 高砂市伊保港町1丁目8-1 TEL(079)448-6001</p>	

安くて楽しい貸切バスの旅へ出発!

見積り
無料

どこからでも!

ご希望地から
出発可能!

何名様からでも!

少人数でも
OK!

いつでも!

ご都合の
いい時間に
出発可能

どこへでも!

プランを自由に
組めます



お客様のプランに合わせて お見積り・手配いたします

団体旅行・グループ旅行

視察・研修・工場見学

学校遠足・こども会・クラブ遠征

結婚式・会社式典・イベントの送迎

バス・ジャンボタクシー・タクシーの御用命は

伊保タクシー有限公司

バス課 TEL(079)448-0587 FAX(079)447-2150

バス・ジャンボタクシーをご利用の際は事前にお問合せください。よりよいプランをご提案させていただきます。

山陽電車：伊保駅・大塩駅 JR：曾根駅・宝殿駅 常駐

タクシー課 (本社営業所) TEL(079)447-0587 (大塩営業所) TEL(079)254-2200
☎ (0120)47-0587 ☎ (0120)25-3131